

学習の手引き

保護者用リーフレット

小学校の学習は、これからの人生の基礎となるものです。特に「読み」「書き」「計算」はもちろんですが、それらを使って思考力や判断力、表現力を身につけることも必要になってきています。
学校では、学び合い学習やチーム・ティーチングなどにより基礎学力を高める努力をしていますが、家庭と連携することによりさらに向上が期待できます。
「家庭学習の習慣化」は、学力を付け、「生きる力」を高める上で、気軽に取り組めて効果が上がりやすい方法と言えます。

各学年で身につけたい力

1 家庭での学習の習慣化をめざす！

- ☆ 学習時間のめやす
低学年…20分～30分くらい
中学年…40分～50分くらい
高学年…60分～70分くらい
- ☆ 学力アップは規則正しい生活から！
◎ 早寝・早起き・朝ご飯
◎ テレビとゲームは1時間以内に！
◎ 翌日の準備は必ず自分で！

2 保護者の役割

- (1) 学習時間を確保して！
何かとスケジュールに追われがちな子どもたちですが、短時間でも「必ず机に向かう」時間をとってください。何時から何時までは学習時間ということで毎日のサイクルをつくっていきましょう。
- (2) 学ぶための環境づくりを！
「～ながら」はダメです。テレビや余計な音を消して、集中できる時間帯をつくってください。また、勉強している間は、家族の方も本を読んだりすると時間が有効に使えます。
- (3) 見届けと励ましを！
ほめたり励ましたりすることが、子どものやる気を引き出します。コメントを入れてみたり、スタンプを押してみたりしてやることをお勧めします。
- (4) 学校との連携を！
家庭での過ごし方や学習の仕方等、何でもご相談ください。習慣化が図れるまで、二人三脚で行きましょう。

習慣付けの1年生

- ① ひらがな・カタカナの清音が読めて書ける。
- ② 助詞（て・に・を・は）を適切に使い分けて文章が書ける。
- ③ たし算・ひき算ができる。
- ④ 80字の配当漢字が全部読めて80%以上書ける。
- ⑤ 鉛筆を正しく持って書ける。

継続めざす2年生

- ① 160字の配当漢字のすべてが読め、80%以上書ける。
- ② 順序良く話すことができる。
- ③ 九九がすらすら言える。
- ④ 桁をそろえて筆算できる。
- ⑤ 決められた長さの直線が正しく引ける。

分かれ道の3年生

- ① 200字の配当漢字すべてが読め、80%以上書ける。
- ② ローマ字を正しく読んだり書いたりできる。
- ③ 短い詩や文章が暗記できる。
- ④ 主語と述語の意味と使い方がわかる。
- ⑤ 国語辞典が活用できる。
- ⑥ はかりを使って重さが読める。
- ⑦ 割り算ができる。
- ⑧ コンパスで図形が描ける。

楽しさ覚える4年生

- ① 200字の配当漢字のすべてが読め、80%以上の漢字が書ける。
- ② 文同士のつながりを考えて指示語や接続語が使える。
- ③ 漢和辞典が活用できる。
- ④ 割り算の筆算ができる。
- ⑤ 分度器を使って角度が測れる。
- ⑥ 分数の表し方が分かり、計算ができる。
- ⑦ 大きな数の計算ができる（兆まで）。
- ⑧ 地図を使って調べることができる。

努力がもの言う5年生

- ① 185字の配当漢字のすべてが読め、80%以上の漢字が書ける。
- ② 既習の熟語の80%以上が書ける。
- ③ 小数の掛け算・割り算ができる。
- ④ 異分母分数の足し算や引き算ができる。
- ⑤ 割合や百分率を使った問題が解ける。
- ⑥ パソコンでローマ字入力をしたり、インターネットで簡単な調べ学習ができる。
- ⑦ 47都道府県名を覚える。

中学準備の6年生

- ① 小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、80%以上の漢字が書ける。
- ② 小学校で習った熟語の80%以上が書ける。
- ③ 詩や短歌、俳句などを暗唱できる。
- ④ 分数のたし・ひき・かけ・わり算ができる。
- ⑤ 歴史上の事件や人物の説明がおおよそできる。
- ⑥ 世界のおよその国の位置や特徴がわかる。
- ⑦ 理科の実験道具の正しい使い方がわかる。
- ⑧ インターネットを使って調べることができる。

その他、取り組みたいこと

- ① 読書を毎日続ける。
- ② 辞典や図鑑をつねに利用する。
- ③ 地図がいつでも開けるようにする。
- ④ ニュースを話題に家族で話し合う。
- ⑤ 有名な詩や文章を暗唱する。
- ⑥ 自然に目を向け、観察する。
- ⑦ 体を動かす時間をとる。
- ⑧ 家の手伝いを決める。